

脱炭素アドバイザー

本ページでは環境省認定制度脱炭素アドバイザー資格についてお知らせするとともに、弊会の試験に合格し、同資格を取得された皆様への更新情報等の提供を行っています。

弊会主催: [SDGs・ESG金融検定試験](#)が「環境省認定制度 脱炭素アドバイザー ベーシック」の対応試験として、[カーボンニュートラルアドバイザー検定試験](#)が「環境省認定制度 脱炭素アドバイザー アドバンスト」の対応試験として、それぞれ認定を受けています。

SDGs・ESG検定試験

カーボンニュートラル
アドバイザー試験

◆ 環境省認定制度 脱炭素アドバイザーとは

脱炭素アドバイザー資格制度認定ガイドラインにおいて、本制度の目的が示されています。

企業が脱炭素化を進めるにあたり、自社のサプライチェーンから排出される温室効果ガス（以下、「GHG」という）を把握し、削減することが求められる。そのためには、GHG 排出量の算定、削減目標の設定、具体的な削減策の実施、財務面を踏まえた設備投資の検討や経営方針への反映、資金調達のあり方など多様な知見が必要になることから、専門的な知識等を備えたアドバイザーによる支援が必要なケースが多い。こうした状況に鑑みて、わが国全体として、十分な知見・能力を持ったアドバイザーを育成していく観点から、適切な事業者が一定の基準を満たした教育プログラムを提供する場合に、国として認定を与える枠組みを構築する。

本ガイドラインでは、GHG 排出量の計測・削減等の具体的な支援内容に応じて、アドバイザーが資格制度を通じて習得すべき知識等の水準を規定する。アドバイザーが習得すべき知見等の教育および資格試験等を提供する事業者（以下「資格事業者」）が提供する資格制度について、環境省が本ガイドラインに基づく認定を行うことで、同資格制度の活用を勧奨し、わが国企業の脱炭素化を人材面から後押しすることを政策目的としている。

[さらに詳しく→](#)

▶脱炭素アドバイザー資格認定制度リーフレット（環境省ホームページ）

https://policies.env.go.jp/policy/decarbonization_advisor/doc/leaflet.pdf

●SDGS・ESG金融検定試験を受験される方へ→[最新情報のお知らせ。](#)

▶▶情報コンテンツ一覧

[◎サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する 基本ガイドライン の改訂\(ver.2.7\)](#)

[◎温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルの改訂\(Ver6.0\)](#)

[◎ESG関連開示原則の新たな枠組み](#)

[◎2025年2月、我が国の新たなNDCが提出される](#)

[◎中小企業向けSBTの基準の改訂](#)

—金融検定協会主催のカーボンニュートラルアドバイザー検定試験に合格され、会員登録をされている皆様へ—

登録時のメールアドレス等について変更があった際には、こちらより氏名・認定番号を明記のうえ、変更の旨をお知らせください。 [■変更連絡をする](#)